

## 令和4年度 西蒲区教育ミーティング 会議録概要

|            |   |
|------------|---|
| 開催日時       | 令和4年12月22日（木）午後1時30分から午後2時40分まで   |
| 会場         | 巻地区公民館3階 小ホール   |
| 出席者        | <p>西蒲区自治協議会委員：25名（欠席5名）</p> <p>教育委員：渡邊 純子委員</p> <p>事務局：教育総務課主査<br/>特別支援教育課長、学校支援課指導主事<br/>巻地区公民館長、西川図書館長<br/>西蒲区教育支援センター所長、指導主事2名、主任</p> <p>西蒲区役所：西蒲区長、地域総務課長</p> <p>傍聴者：1名</p>   |
| 議事         | <p>1 開会</p> <p>2 教育委員挨拶</p>   |
| 渡邊<br>教育委員 | <p>皆さんこんにちは。教育委員の渡邊純子です。よろしくお願いいたします。</p> <p>今日は記録的な大雪ということで、大変な中、皆さんにお集まりいただき大変ありがとうございます。皆さんには感謝することばかりなのですが、まずお礼を申し上げたいと思います。実は私は今年で教育委員4年目になるのですけれども、住んでいるところが北区、旧豊栄市です。新潟市が大変広域になったもので、端から端までの距離が大変長いと実感しております。私は長いこと社会教育のほうにかかわっております、図書館や小中学校の読み聞かせやボランティア活動を長くさせていただいております。</p> <p>先ほど特別支援教育課長からもごあいさつの中で触れていらっしゃいましたが、地域の方たちが一生懸命にいろいろなことをされているのだなと実感して今日まいったのですけれども、この雪の中、私も近くの小学校に読み聞かせに行きまいりました。そうしたら、通学路なのですけれども、子どもたちが歩くところはきちんと除雪されていて安心したというか、私も子どもと一緒に歩きながら学校で読み聞かせをまいりました。</p> <p>その間に、交通整理をしたり、見守りをしたり、あいさつをしてくれる地域の方がたくさんいらっしゃいました。本当に地域の人たちに支えられながら子どもたちは守られているのだなと実感してまいりました。これからお願いすることがたくさんあるかと思うのですけれども、今日のテーマの特別支援と部活動の地域移行、その辺もやはり学校と地域の両輪でうまくやっていかなければいけないと感じております。</p> <p>今日、お忙しい中皆さんにお集まりいただいたので、ぜひ、その辺</p> |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>のことをたくさんご意見、ご質問等もお伺いしたいと思ってまいりました。よろしくをお願いします。</p>  |
| 議 事     | <p>3 説明<br/> (1) 特別支援教育について<br/> (2) 質疑応答<br/> ※(1)の説明内容は会議資料を参照</p>   |
| 司 会     | <p>それでは、これより質疑応答の時間に入りたいと思います。</p>   |
| 自治協委員   | <p>二つ質問します。一つは資料4ページ、以前は言語教室というものがあつたが、特別支援学級の設置状況を見ると言語がゼロということは、そういった障がいがある子どもはいないのでしょうか。</p> <p>二つ目は、3ページ、最近、家庭内において児童の虐待というものがすごくあります。虐待を受けた子どもは精神的に影響を受けることがあるわけです。そういう家庭が関係するものも増えている理由に入るのでしょうか。この二つをお聞かせください。</p>  |
| 特別支援教育課 | <p>まず1点目です。4ページの右端の言語のところの特別支援学級がゼロということはおっしゃるとおりです。新潟市では、昭和40年代だったか少し記憶がないのですが、言語の教室ということで、日本海側で初めての言語教室が立ち上がったということです。その歴史が今も脈々と残っていて、特別支援学級という形ではゼロなのですが、各区に言語発達通級という学級があつて、そこに子どもが通っています。それを今、数を増やししながら言語障がいへの対応をしているところです。</p> <p>2点目の、発達障がい等も含めて特別支援学級在籍児童数が増えている背景に虐待があるのではないかというご指摘、本当におっしゃるとおりです。今年度新設された特別支援教育課は昨年度まで学校支援課に特別支援教育班として置かれていました。学校支援課から特別支援教育班が独立して課になるときに最後まで反対意見があつたのは、虐待から起因して発達障がいのような様相を呈する、また、障がいがある子どもに対する虐待というような問題もはらんでいるので、非常に慎重に判断しなければいけないということで、生徒指導と特別支援教育の連携を密にする必要がある。だから分けるのはどうなのだろうということが議論されていきました。しかし、教育委員会が古町ルフルという建物に移り、全部ワンフロアに収まる形になりまして、今は特別支援教育課と学校支援課の生徒指導班ということで分かれましたが、席を隣にして、今までと同等かそれ以上に連携を取り合いながら、「こういう学校でこういうことがあるのだけれども、虐待の報告とかないですか」とか、「この子どもについて虐待で一時保護されていた</p> |

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>よ」と、そういう情報を常にもらって、虐待に結び付く発達障がいのような症状については全く別の対応が必要になってまいりますので、そういう手厚い対応ができるようにと考えています。</p> <p>おっしゃるとおり、虐待を受ける子どもが発達障がいと診断されているケースもゼロではないと思っていますので、そこについては本当に慎重な判断を今後もしていきたいと思っています。貴重なご質問、ありがとうございました。</p>   |
| 議 事     | <p>3 説明</p> <p>(3) 部活動の地域移行について</p> <p>(4) 質疑応答</p> <p>※(3)の説明内容は会議資料を参照</p>  |
| 司 会     | <p>それでは、これより質疑応答の時間に入りたいと思います。</p>  |
| 自治協委員   | <p>特別支援教育についてです。合理的配慮に関してなのですが、障がいと言ってもグラデーションがあるでしょうし、どのような合理的配慮、例えば、私は現在、ほかの区なのですが、放課後児童クラブに行っていて、とても大変な子どもが一人いて、本当に危害を加えかねないので、1対1ではなく2対1での対応が必要。しかし、それは医師の診断がつかないと不可能ということになっていて、しかし、児童クラブの先生からは何も言えなくて、学校などに相談はしているようなのですが、あまり、先ほどおっしゃっていた切れ目のない支援というのがみられません。医師の診断のない子どもへの対応についてはどうお考えでしょうか。</p>  |
| 特別支援教育課 | <p>医師の診断がないから配慮する必要はないということではなくて、ぜひ、その子どもに関して、学校でどのような配慮をしているのか切れ目のない情報共有をして、学校で有効な手段を、放課後児童クラブで取り入れられることはないか検討したり、保護者に「学校でこういうことをやっているのだけれども、放課後児童クラブでも、同じことはできないけれどもこのような配慮をしていきたいと思っています」ということを伝えて合意形成をしていったりということがとても大事だと思います。</p> <p>それで、放課後児童クラブとかデイサービスと学校との情報共有について、切れ目のない支援をすることで、放課後が安定すれば学校生活も安定し、子どもの幸せにつながります。教育委員会も強く勧めたいと学校に言っていたいただいてもいいですので、少しくまなく行かないようでしたら教育委員会が間に立ちますので、ぜひ学校と情報共有をしてください。</p> |
| 自治協委員   | <p>ありがとうございます。結構似たようなことで困っている人は、私</p>   |

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>たちの働いている現場にはたくさんいるので、もう少しそこに目を向けていただきたいと思います。</p>   |
| <p>自治協委員</p> | <p>部活動についてですが、今日はまだ何も決まっていなんでしょうけれども、例えば、区単位でやるとか、あるいは競技団体単位でやるとか、あるいは総合型スポーツクラブ的なものを作るとか、そういう新潟市として行政主導型で方針があるのか、それとも自然発生的にそれを待っているのか、その辺を教えてください。</p>  |
| <p>学校支援課</p> | <p>こちらとしましては、学校にまずは自校でできるかどうかということからお願いしているところです。この後、どのように協会や連盟的なところをお願いできるのかという辺りも含めて検討していくところなのですが、今おっしゃったように、区というものが一つキーワードになるかなと私たちも考えています。今、アンケートを取ったものが、区ごとの傾向が見えるのであれば、そういった視点で区ごとに何か、この部活はここでとか、この運動をできる場所の依頼先があるのかとか、そういったところも検討材料になってくるかと考えているところです。</p>       |
| <p>自治協委員</p> | <p>先般、弥彦で会合がありまして、参加させていただきましたが、新潟県としては全国的には先進を走っているという話です。この前は県のスポーツ協会の本部で行いましたが、やはり、よく連携を取って、できればスポーツ協会なのか、あるいは総合型スポーツクラブを作るのか。我々競技団体としては考えなければいけないことがいろいろありますので、どうでもいいよみたいな、こんなものがあるよではなくて、こんなふうになったらどうかというのを、早く指針を出してもらえればと思います。</p>                                 |
| <p>学校支援課</p> | <p>検討を進めてまいりたいと思います。</p>   |
| <p>自治協委員</p> | <p>西蒲区のPTAの代表で来ています。<br/>部活動のところなのですが、今後、外部講師とかという話があったのですが、具体的にはどういう形で、例えば、野球をやりたい人たちが集まって、だれか教えてくれる人はいませんかという形で申請して、監督として来てもらうのか、どうなるのかなということが大変気になっています。私の子どもも野球をやっている、少しは教えられるのですが、自分の子どもなら責任を取れるのですが、人の子どもにやるというのはなかなかできない部分もあるので、保護者だけでやっていくというのは難しいところもあるのかなと</p> |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>学校支援課</p> | <p>感じています。その辺、もし、何か具体的なものがあれば。</p> <p>すでに、あまり規模の大きくない近隣の学校がくっついて野球チームを編成しながらやっているところがあります。指導に当たっている方がどなたかまでは私も把握できていないのですが、そのように近く同士、またはこれまでも何かしらのつながりがあったところというものがありますので、こちらから無理にこことここにくっついてくださいということは、実はできない、難しいというものがあります。なので、これまでの経緯ですとか、同じく指導をされている方がいらっしゃるケースもあったりするので、今、学校間での連携で可能なところは話を進めてもらっているところです。</p> <p>皆さんの学校の部活にももしかしたらいらっしゃるかもしれませんが、新潟市には外部指導者ということで、サポーターという制度の方やエキスパートというような立場の方がいらっしゃるのですが、その方々がいてくださるというケースも多分にあるかと思うのです。となると、もしかしたら、部をそのまま今までの知っている方が見てくださるといふことであれば、子どもたちにとっても一番安心だったり分かりやすい環境だったりするのかなと思ひまして、そこもまた一つケースとしてはありえる部分かなと、そのときにはまたそういった方々にお願ひできる部分なのかなと考えているところです。</p> |
| <p>自治協委員</p> | <p>2点聞きたいのですけれども、南浜の例が出ていますけれども、ここに関しては、各学校の担当者同士が知り合ひで、その中でやっていると思うのです。この主たるものは各部活の指導者にアクションするのか、中学校区の学校長にアクションするのか、新潟市教育委員会のスポーツ担当にアクションするのか。それが1点。</p> <p>それと、最後にグッドスタートフォーラムの開催とありますけれども、来年の何月とかという予定があるのですか。</p> <p>あとは、協会、連盟からということなのですからけれども、私が所属している協会、連盟からは情報が一切まだ降りてきていないので、いつくらいに新潟市から協会、連盟に話をするのかについてお聞きたいと思ひます。</p>  |
| <p>学校支援課</p> | <p>まず、南浜サッカーコミュニティの件に関してですが、こちらは運営主体が南浜中学校の地域の方、サッカーがとても盛んなところで、これまでも地域の方が南浜小学校の指導に当たられていたということなのですが、その方が運営主体となって、さらに、その方のついでで指導者を募ったチームとなっています。各校には委託ということで、こちらはすでに令和3年度から始まっているもので、私はスタートした</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>いきさつの声のかけ方までは把握できていないのですが、各校に連絡が行き、サッカー部の子どもたち、複数校の子どもたちがここに集まってくるという聞いています。顧問が引率するとかということではなくて、土曜日に練習会場にそれぞれが通ってくるということで運営していると私も聞いて確認しているところです。</p> <p>先ほどありましたグッドスタートフォーラムのことですが、まだ期日がいつと決まっているものではありません。ただ、地域の皆さん、市民の皆さんに正しく情報をお伝えしていく必要があるということで、今、検討しているところです。なお、先ほど、協会、連盟への連絡ということでしたが、今、市長部局のスポーツ振興課や文化政策課と一緒に、どういったことを協会や連盟にお声がけしていけるのかという辺りの検討状況でありまして、検討が進み次第、各協会や連盟にお話ししていきたいと思っていますところです。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>自治協委員 時間のない中、すみません。本日はご説明ありがとうございました。私は質問というか要望というかお願いです。</p> <p>まず、1点目は特別支援教育についてです。先ほど、切れ目のない支援ということでお話がありましたが、私の子どもは特別支援学校に通いましたが、非常に、10年前から見るとかなりよくなってきたのかなと思います。ただ、義務教育のときはいいかもしれませんが、高校に行く自立という形で、通うのは各自で通うのだけれども親の支援が必要だということがあったり、就職してもなかなか企業にまだそういった体制ができていなかったりということが一番ですので、ぜひ、新潟市として垣根を越えた連携をしていただきまして、そういった形の、本当に切れ目のない支援を何とかお願いしたいというのが一つ要望です。</p> <p>もう一つは、部活動について、お話のとおり、まだ決まっていないこともあるかと思いますが、では、教えてもらった講師に対しての報償費とか謝礼等について、新潟市としてどう考えていくのかということも、ある程度決まった時点で、さすがにボランティアで全部というわけにはいかないと思いますので、その辺も新潟市で決まりましたら報告していただければと思っています。</p> <p>学校支援課 部活動ということで、国の補助やそういったものも検討しているところですが、受益者負担という辺りがどうなるかということで、今、検討を進めているところです。まだ確定にはなりませんので、それらについても地域と詰めていきたいと思っています。</p> |
| 議 事 | 4 西蒲区自治協議会会長挨拶  |

|              |   |
|--------------|---|
|              | 西蒲区自治協議会会長 長井 正雄 様  |
| 司 会          | 閉会にあたりまして、西蒲区自治協議会会長、長井様よりごあいさつをいただきたいと思います。よろしくお願ひします。   |
| 自治協議会<br>会 長 | <p>どうもごめんください。西蒲区自治協議会の長井と申します。</p> <p>本日は、渡邊教育委員をはじめ教育委員会の皆さんと、このような懇談会をやらせていただきまして、本当にありがとうございました。ただ、先ほどから出ておりますように、少し時間が足りないです。また自治協議会の皆さんともお話ししながら、別の機会にお話ができればと私は思っておりますが、お許し願ひたいと思います。</p> <p>本日の教育ミーティングは、特別支援教育と部活動の地域移行について、新潟市の現状を説明していただき、意見を交換することができました。先日の報道によりますと、発達障がい者の可能性のある子どもは小中学校通常学級で 8.8 パーセントになるということです。これらからも考えますと、特別支援教育のニーズは今後とも高まってまいるのでないかと考えております。</p> <p>それと、部活動につきましては、いろいろ出ておりますが、まだはっきりしたことが決まっていないようですが、ぜひ、地域の皆さんも一緒になって、地域活動で学校に応じていきたいと思っております。いろいろ意見が出ましたように、いろいろな面で行政も協力いただきたいと思っております。</p> <p>これからの西蒲区の子どもたちの豊かな学び、健やかな成長のために、学校と自治協議会が力を合わせていくことを確認いたしまして、閉会のごあいさつといたします。どうもありがとうございました。</p> |
| 議 事          | 5 閉会  |
| 司 会          | ありがとうございました。以上をもちまして、令和 4 年度西蒲区教育ミーティングを閉会いたします。  |